

税金

の使い方を審査しました

決算審査特別委員会

9月14日、決算審査特別委員会を設置し、平成17年度一般会計と特別会計および水道事業会計について審査を行い、原案のとおり認定し、20日に終了しました。質疑の内容を一部紹介します。

町税滞納対策に どう取り組むのか

質疑 財政状況が非常に悪化している中で、町税や利用料などの滞納や徴収不能による不能欠損処理が増え、町財政を圧迫する重大な原因となっている。滞納対策にどう取り組むのか。

答弁 徴税部門の増員、納税窓口の時間の延長、夜間徴収、滞納者へのサービス停止の条例化の検討、悪質な滞納者には法的手段も講じる等、あらゆる手段と方法を駆使して、収納率の向上を図っていきます。

AED配備状況は

質疑 AEDは現在、役場本庁舎と槻木生涯学習センターに配備されているが、今後の配備計画はどうなっているか。町施設以外でも保有しているところがあるが、実態を把握して連携活用できるようにすべきではないか。

答弁 各種交付金・補助金制度の活用やリース契約など、財源確保を図って増設に努めます。町内の配備状況を調査し、町民が近くの施設で利用できるような仕組みづくりに取り組んでいきます。

職員の間ドック検査は 中核病院で

質疑 町の職員は人間ドックを仙台の成人病予防協会で受診している。みやぎ県南中核病院では健診を実施していないのか。実施していれば、同病院の収入増を図るために積極的に利用すべきではないか。

答弁 同病院では一般診療を優先しており、人間ドックの受入れ体制がまだ不十分なことと、予防協会に職員の過去のデータが蓄積されていることから、現状では中核病院は利用しておりません。



みやぎ県南中核病院

生ごみ処理機 の利用状況は

質疑 家庭から出る生ごみを減らすため、町では生ごみ処理機の購入者に補助金を出して奨励しているが、利用の状況と、処理機で発生する堆肥はどう処理されているか。

答弁 EM式と電気式があり、安価なEM式の方が多く使用されています。堆肥の処理に苦労している家庭もあり、集積場所を町で指定するなど、堆肥が有効に利用されるようなシステムづくりを検討していきます。



EM式の生ごみ処理